

第35回国際生物学賞記念シンポジウム

Commemorative Symposium for the 35th International Prize for Biology



昆虫の社会性と共生をめぐる生物科学

Biological sciences related to insect sociality and symbiosis



生物学賞受賞講演者 Naomi Ellen Pierce (ハーバード大学)

授賞対象分野：昆虫の生物学 (Biology of Insects)

ピアス博士は、異なる昆虫の共生関係に関する行動生態学を研究の出発点とし、昆虫の生態学全般、昆虫・植物・植物寄生菌に関連する分子生物学、現代社会が昆虫に与える影響などの環境問題に至るまで、幅広い研究分野に従事しました。その過程において、種々の発見により種間共生の進化解明に寄与し、さらに現在の比較生態学的研究における標準的な参照体系であるアリ類とチョウ類の高次系統樹を確立しました。ピアス博士のこれまでの数々の業績は、昆虫の生物学における重要な発展を支えるものとして高く評価されるものです。

国際生物学賞は、昭和天皇の御在位60年と長年にわたる生物学の御研究を記念するとともに、本賞の発展に寄与されている今上上皇の長年にわたる魚類分類学の御研究を併せて記念し、生物学の奨励を目的とした賞です。



2019年11月30日(土)

会場：国立科学博物館 上野本館 日本館2F 講堂

シンポジウム1 (おもに研究者・大学生・大学院生向け；使用言語：英語、ただし受賞者講演のみ同時通訳付き)

開催時間：10:00～17:30 (受付開始9:00)

■ 招待講演者

Daniel J. C. Kronauer (The Rockefeller University)
Kazuki Tsuji (University of the Ryukyus)
Joseph Parker (California Institute of Technology)
Kenji Matsuura (Kyoto University)
Takema Fukatsu (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
David L. Lohman (City College of New York)
Antónia Monteiro (National University of Singapore)
Noah K. Whiteman (University of California, Berkeley)
Iain D. Couzin (Max Planck Institute for Animal Behavior)
Rosemary G. Gillespie (University of California, Berkeley)
Naomi E. Pierce (Harvard University)

2019年12月1日(日)

会場：国立科学博物館 上野本館 日本館2F 講堂

シンポジウム2 (おもに一般向け；使用言語：日本語)

開催時間：10:00～17:00 (受付開始9:00)

■ 招待講演者

辻 和希 (琉球大学)
土畑 重人 (京都大学)
丸山 宗利 (九州大学)
小松 貴 (国立科学博物館)
矢後 勝也 (東京大学)
北條 賢 (関西学院大学)
鎌川 謙太郎 (総合研究大学院大学)
藤原 晴彦 (東京大学)
阿部 芳久 (九州大学)
高林 純示 (京都大学)

〈国際生物学賞記念シンポジウム〉

ピアス博士の受賞を記念し、記念シンポジウムを開催します。
参加申し込みは以下の特設ページからお願いします。

<https://www.kahaku.go.jp/event/2019/11sympozoo/>

場 所：国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20)

事務局：第35回国際生物学賞記念シンポジウム実行委員会

主催：独立行政法人国立科学博物館・日本学術振興会

問い合わせ先：〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 TEL: 029-853-8901

問い合わせ専用メールアドレス：IPBsympo@kahaku.go.jp

第35回国際生物学賞記念シンポジウム実行委員会

●日時：2019年11月30日(土) 10:00-17:30

●会場：国立科学博物館上野本館 日本館2F講堂

プログラム：

- 10:00-10:10 OPENING REMARKS
- 10:10-10:40 Daniel J. C. Kronauer (The Rockefeller University) Differentiation, communication, and emergence in ant societies
- 10:40-11:10 Kazuki Tsuji (University of the Ryukyus) Social cancers and socio-immunity
- 11:10-11:40 Joseph Parker (California Institute of Technology) Convergent evolution of a social symbiosis
- 11:40-12:10 Kenji Matsuura (Kyoto University) Genomic imprinting and the origin of termite eusociality
- 12:10-13:10 LUNCH
- 13:10-13:40 Takema Fukatsu (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology) Diversity and evolution of insect-microbe symbiotic associations
- 13:40-14:10 David J. Lohman (City College of New York) Biogeography of mimetic diversity in an adaptive radiation of butterflies
- 14:10-14:40 Antónia Monteiro (National University of Singapore) The evolution of novel complex traits in butterflies
- 14:40-15:10 Noah K. Whiteman (University of California, Berkeley) Genome editing retraces the evolution of toxin resistance in the monarch butterfly
- 15:10-15:20 BREAK
- 15:20-15:50 Iain D. Couzin (Max Plank Institute for Animal Behavior) The geometry of decision-making
- 15:50-16:20 Rosemary G. Gillespie (University of California, Berkeley) Origins of diversity in islands: The nexus of ecology and evolution in community assembly
- 16:20-16:30 BREAK
- 16:30-17:30 Naomi E. Pierce (Harvard University) Insect relationships

■ 定員(対象)：150名(おもに研究者、大学生・大学院生向け)

■ 申込：ホームページ <https://www.kahaku.go.jp/event/2019/11/symposium/> より申込み(先着順。11月20日(水)締切)

■ 参加費：無料(ただし参加される方は常設展示入口にて参加証(受付メールを印刷したもの、もしくは該当画面を表示したスマートフォン等)を係員にご提示下さい。)

■ 使用言語：英語(受賞者講演のみ同時通訳付き)

※シンポジウムへの参加は
事前申し込みが必要です

●日時：2019年12月1日(日) 10:00-17:00

●会場：国立科学博物館上野本館 日本館2F講堂

プログラム：

- 10:00-10:05 開会あいさつ
- 10:05-10:20 辻 和希(琉球大学) Pierce教授の研究業績の概要
- 10:20-10:55 土畑 重人(京都大学)「働かない」働きアリの不思議
- 10:55-11:30 丸山 宗利(九州大学) 好蜜性昆虫を採集して記載して、進化を追う
- 11:30-12:05 小松 貴(国立科学博物館) アリツカコオロギの多彩なる寄生戦略
- 12:05-13:05 昼食
- 13:05-13:40 矢後 勝也(東京大学) シジミチョウ科幼虫が備える好蜜性器官の多様性
- 13:40-14:15 北條 賢(関西学院大学) シジミチョウとアリの相利共生にみられる両者の熾烈な駆け引き
- 14:15-14:50 蟻川 謙太郎(総合研究大学院大学) チョウが見る色の世界をさぐる
- 14:50-15:25 藤原 晴彦(東京大学) 雌のみが擬態する蝶の生存戦略のしくみと進化
- 15:25-15:35 休憩
- 15:35-16:10 阿部 芳久(九州大学) タマバチの労働寄生およびアリとの相利共生
- 16:10-16:45 高林 純示(京都大学) 植物と昆虫のコミュニケーションを解読する
- 16:45-17:00 全体質疑

■ 定員(対象)：150名(おもに一般向け)

■ 申込：ホームページ <https://www.kahaku.go.jp/event/2019/11/symposium/> より申込み(先着順。11月20日(水)締切)

■ 参加費：無料(ただし参加される方は常設展示入口にて参加証(受付メールを印刷したもの、もしくは該当画面を表示したスマートフォン等)を係員にご提示下さい。)

■ 使用言語：日本語

※シンポジウムへの参加は
事前申し込みが必要です